

## 令和3年度 学校経営方針

### 「一人を大切に、共に学び合い、喜び合える学校」を目指して

渋谷区立加計塚小学校

校長 小山 努

#### 1. はじめに 加計塚小学校の歴史と伝統、そして未来

渋谷区立加計塚小学校は開校 102 年を迎え、その歴史と伝統は 1.1021 名の卒業生や保護者、地域、企業や関係諸機関の多くの皆様によって期待され支えられ創造されてきました。特に、大規模商業施設や駅に隣接し、地域のみならず多方面の多くの人々が参集する地域にあって、常に注目の的にある本校は、教育機関である「未来の学校」としてはもちろん、地域の交流・防災拠点として常に見守られ期待されてきていることは特質すべき特色であると推察されます。

本校では、教育目標「心豊かな子」を重点目標にしています。そして「人と人との関わりを通して、多様性を認め合い、自他ともに大切にする児童」を目指す児童像をビジョン（基本方針）の第一に設定し、教科領域を横断してその資質や能力を育てるためのカリキュラム・マネジメントを展開してまいります。このことは、渋谷区の未来像「ちがいを ちからに変える街。渋谷区」を受けて、渋谷区立学校が目指し未来を生きる力である資質や能力「人を大切にし、互いの違いを認め高め合う力」そして、「他者と協力して新しい価値を創造する力」を育む「未来の学校」としてのビジョンと共有しています。

一方で、前述したように本校は、多くの保護者や地域の皆様に学校教育に参画していただき、子どもたちを支援する教育環境の充実を図ってきた歴史と伝統を積み重ねてきました。そこで令和3年度は、保護者、地域、外部専門家や企業、関係諸機関の皆様のご支援をいただく内容を精選し「シブヤ科」を教育課程にマネジメントし、「加計塚コミュニティ・スクール」の取組を一步すすめてまいります。この「シブヤ科」の学習では、未来に向けて渋谷区や地域、私たちの郷土を「持続可能な社会」にするための課題を見つけたり、知識を学んだり、問題の解決を追究したり、その学びの成果を発表・提案したりします。そして児童相互はもちろん、保護者、地域の皆様とも関わる中で「共に学び合い、喜び合える」体験を増やしていきたいと考えています。

また、奇しくも新型コロナウイルス感染防止に伴う臨時休業を機に生じた「GIGA スクール構想」は、渋谷区立小学校では、早くから児童・教員一人 1 台タブレット端末が配備され「鉛筆・ノートからタブレットへ」という教育の物的および質的向上がすすんでいます。ICT 機器を活用した「利便性や効率性」「相互コミュニケーションの活性化」を推進する授業改善は、子どもたちの未来のためにやり遂げなければならない課題であると考えます。渋谷区立学校では、「渋谷タブレットの日」を設定して「ハイブリット化」「渋谷 3S 感染防止」。そして「シブヤ科」と「未来の学校」を視野に入れた ICT 教育の先進的な取組をしています。加計塚小学校でも、新しい学習環境での学びに教員が一丸となって挑戦をし、そのよさを教員と児童が協働して開発している実践を先駆しています。（HP 上に公開）今後も、未来を担う子どもたちのために、ICT 機器の活用を教員相互にさらに学び合い、高め合いながら、主体的、対話的で深い学びを実現する授業改善をすすめてまいります。

## 2. 学校経営の目標（Mission 使命・責務）

令和3年度は、全校児童286名、教職員スタッフ42名でスタートいたします。学校はその「児童一人の幸福を実現する」ためにあります。したがって、互いの違いや多様性を認め合いながら、「誰一人も残さない」で全員が安心して学び合い喜び合える価値を大目的として、以下の資質や能力の育成を目指します。

- (1) スローガン「一人を大切に、共に学び合い、喜び合える学校」
- (2) 目標とする児童像 一身に付けさせたい資質や能力

各教科・領域の学習活動において、多様な児童相互、教員と児童、児童と保護者・地域の人々が、聴き合い、話し合い、学び合いながら、自分たちで「できたね」「これいいね」という価値を導き出し創造する学習体験を積み重ねていきたいです。そして、学んだ成果を伝え合い、相手に「喜んでもらう」そして褒めてもらい自分たちも「喜び合う」をことに価値を見出す児童の育成を目指します。

- ・聴き合える力をもつ子ども
- ・話し合える力をもつ子ども
- ・学び合える力をもつ子ども
- ・深め合える力をもつ子ども
- ・喜び合える力をもつ子ども

## 3. 教職員の価値・規範（Core Value 価値観・規範）

以上の、使命・責務を実現するために、まずは5つの価値・規範を基調において、教育活動を展開して行きます。つまり、私たち教職員が教育活動の中で大切にしている価値や規範、判断基準となります。

- (1) 「生命」 を、厳然と護ります。

一人の「生命」を大切に、ありのままを認め、信じ、励まし、支えていくことを第一の価値としていきます。

- (2) 「人権」 を、どこまでも大切にします。

自他共に大切にしている価値観、支持的な風土を共有する人権教育を徹底し、確かな人権感覚（知識や価値観、実践力）を育てていきます。そして、いじめの未然防止、早期発見、早期解決を期してまいります。

- (3) 「安全」 を、前前（さきざき）に備えます。

学校安全、交通安全、災害安全において、自他共に安全な生活を実現しようとする資質や能力を育成することはもちろん、「最悪のケースを、最善のチームで解決する」ことを想定した安全点検、管理や訓練を重ね、実質的な危機管理を教員組織で確立していきます。

(4) 「健康」 を、共に気遣う

自他共の「健康」を守るための「新しい生活様式」は定着してきています。引き続き、ご家庭のご理解・ご協力をいただき、新型コロナウイルス感染防止に徹底して取り組んでまいります。

(5) 「生命」「人権」「安全」「健康」を護るために、保護者や関係機関の方と連携します。

自他の「生命」「人権」「安全」「健康」を意図的に侵害するいじめや問題行動に対しては、保護者に皆様や相談機関、外部関係機関などと協働するとともに、関係法令に遵守し児童の心に寄り添い解決を考えてまいります。

4. 学校の指導の重点 (Vision 目標を達成するための指導内容)

以下の内容は、令和3年度に取り組む教育課程の要旨です。児童や保護者、地域の皆様をはじめ、学校運営協議会の皆様の声をいただきながら、自己評価を行い、その都度見直し、柔軟に改善をしていくこともあります。

- (1) 各教科の授業・指導においては、児童相互、教員と児童、児童と地域の方々との関わりや対話を重点にした、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を展開します。
- (2) 同じく、ICT 機器、タブレット PC の日々の学習・生活における有効活用をすすめながら、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善をすすめます。
- (3) その指導技術を高めるために、教師も相互に学び合うために研修を行います。
- (4) 道徳の時間の重点として「他者と意見を交換し、考え議論する」授業実践を行います。
- (5) 総合的な学習の時間には、児童相互はもちろん、保護者や地域、企業などの外部人材との関わりを通して、郷土の自然、伝統や文化、歴史の他、未来の環境や健康、福祉や生き方を学ぶ「シブヤ科」の問題解決学習を行います。
- (6) (5)に関連して、保護者の方や地域、企業などの外部人材の高い教育力を活用し、地域と協働したコミュニティ・スクールの諸活動を推進していきます。関連して、学校地域支援本部（仮称）などの支援組織を構築してまいります。
- (7) 全教育活動において、自他を振り返り、認め合い自己有用感をもたせ、未来への持続可能な夢や希望を育む「夢 100! ノート」の実践を行います。
- (8) 自他を大切にする人権教育を通して、「加計塚小学校いじめ防止基本方針」に沿ったいじめの未然防止、早期回復、早期対応や暴力行為の防止に、校長を中心とした全教職員で取り組みます。
- (9) 特別支援教室拠点校として、特別支援教育コーディネーターやスクール・カウンセラー、特別支援教育専門員など専門スタッフ中心に全教職員で智慧を出し合い、特別に支援を要する一人一人の児童への組織的で細やかな支援を実施します。